

株式会社宮城白鳥農場

温室効果ガス排出を削減した
持続可能な水稻生産

調達

生産

流通

消費

取組概要

〇住所
宮城県栗原市志波姫八樟吹付67

【目的】

持続可能な農業を実現のため、温室効果ガスを削減した栽培体系を推進する。

【内容】

- 1 水稻の中干し期間を、従来の平均実施日数10日から7日間延長することで、二酸化炭素の約30倍の温室効果を持つメタンの排出削減を図る。
- 2 カーボנקレジット制度（J-クレジット）を活用して中干延長に取り組むことで、環境負荷低減と収益性の確保を両立させる。

取組の成果

- 1 現在、水稻80ha中、50haで中干延長に取り組み、メタン排出の削減に貢献している。将来的には、乾田直播も活用しながら、全面積で温室効果ガス排出削減に取り組むとともに、地域農業の担い手として面積を拡大していくこととしている。
- 2 J-クレジットの活用により、目に見えづらい環境配慮の効果を利益に還元できており、今後水稻は全面積で取り組みながら、所得の倍増を目指すこととしている。



代表取締役
白鳥 一徳 氏



左：こまめな見回りによる水管理や畦畔の整備により、適正な生育を確保
中：乾田直はにも取り組み、効率的な管理を図っている。
右：転作（大豆）も約40haで取り組み、地域の農地維持に貢献している。